

平成30年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

豊かな心と健やかな体、主体的に考え行動する力、互いに協調して根気強く取り組む態度を培い、将来、社会人として「自立と貢献」ができる人間を育成する。

（2）具体目標

進んで学び主体的に行動する生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で気力のある生徒

（3）生徒指標

「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の教育を調和的に展開することにより、確かな学力や自ら学び、考え、行動する力、豊かな心、健康な心身などの生きる力の育成を図る。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し自ら研鑽に努め、協働して教育活動を推進するとともに、保護者や地域との連携を深め、より一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- （2）豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- （3）「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- （4）認めて褒めて、自己肯定感を高める教育の推進
- （5）言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- （6）特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- （7）専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の適正化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- （8）小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり

[横川地域学校園教育ビジョン]

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育

～自分・人・地域を大切にする子どもの育成を目指して～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

生徒一人一人のよさや強みを認め、褒めて伸ばす指導の充実

【学 習 指 導】

○「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と「主体的・対話的で深い学びの実現」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成

【児 童 生 徒 指 導】

○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導

○児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい—(共通スローガン)

～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～

【健康（体力・保健・食・安全）】

○自他の命を大切に、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「私は、今の学校が好きです」生徒の肯定的回答 80%以上	① 学校行事・集会等では、生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な活動を生かした指導にあたる。 ② 校内の掲示物を工夫し、生徒の活動を紹介すると共に明るい雰囲気を作り出す。	B	【達成状況】 A 1 生徒の肯定的解答 90.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・これまでの取組を継続し、学校行事で生徒会や学級委員が中心となり生徒が主体的な活動が行えるような環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」生徒の肯定的回答 80%以上	① 基礎的・基本的な知識及び技術を確実に習得できるようにするための「わかる授業」「楽しい授業」をめざす。 ② 生徒一人一人の理解に応じたわかりやすい丁寧な指導にあたる。	B	【達成状況】 A 2 生徒の肯定的回答 96.2% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・生徒の肯定的回答の割合は、昨年度より3ポイント上がり、保護者の割合も上がった。 【次年度の方針】 ・保護者に対して授業の様子や取り組みを紹介していく。 ・言語活動の充実を目指し、「見せ合い授業」や授業研究会を通して、各教科で課題を明確にし、分かりやすく、楽しい授業の展開に努める。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」生徒の肯定的回答 80%以上	① 「授業の4つのきまり」「学習の仕方」の徹底とマナーを守ることの大切さを指導する。 ② 道徳や学級活動における指導内容の中に明確に位置づけて指導する。	B	【達成状況】 A 3 生徒の肯定的回答 89.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・生徒の肯定的回答は、昨年度より4.7ポイント上がった。保護者の回答も、85.5%で1.2ポイント、教職員の回答も92.5%で2.5ポイント上がった。 【次年度の方針】 ・引き続き、「学習の4つのきまり」の徹底及び学習態度や生活態度のきまりやマナーを身に付けさせる指導を継続的に行っていく。特に、「タイム着席」「起立、礼」「指名されたらハイ」「人の話を最後まで聴く」の更なる実践を図り、生徒が主体的に行動する態度の育成を図る。また、指名で「はい」、指示されて更に「はい」を身に付けさせるとともに、道徳や学級活動の時間を活用し、規範意識を高める授業実践を行うなど基本的生活習慣の定着に努めていく。

A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「先生方の授業は、わかりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 学力向上非常勤講師を活用して、基礎・基本の定着と自主学習ノートを使った効果的な家庭学習の指導に努める。 ② 数学・英語においては、習熟度学習やT・Tを実施し、きめ細かな指導を行う。	【達成状況】 A 4 生徒の肯定的回答 90.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・生徒の肯定的回答は昨年度より 3.7 ポイント、保護者の回答は、73.1%で0.8ポイント上がった。 【次年度の方針】 ・昨年度に引き続き、授業でT・Tやコース別学習、また放課後学習相談を行うなど、生徒一人一人に個別対応のできる学習指導の体制を整えていく。また、保護者へは授業参観・「見せ合い授業」・学習相談の様子をHPにアップし、アピールしていく。
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 生徒の肯定的回答 80%以上	① いじめアンケートの実施やスタンダードダイアリーを活用して、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ② 教職員の人権感覚を高め、授業や学校行事をはじめ、学校生活のすべての場面において、いじめが許されない行為であることを常に生徒に指導していく。	【達成状況】 A 5 生徒の肯定的回答 95.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・地域住民 88.9%、教職員は 100%であった。保護者は 74.7%であったが昨年に比べ 9.4%上がった。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続し、より一層「いじめを許さない」意識を高められるよう指導していく。そのために、教職員の人権感覚を錬磨するための校内研修を実施していく。いじめの未然防止、早期発見及び早期に対応するため、年8回のいじめアンケートを実施する。学校と保護者・地域が連携・協働していじめのない学校づくりに努める。 ・「いじめ等問題行動対策委員会」を開催し、生徒の健全育成に向け、PTA及び保護司や青少年育成会等の関係機関と連携の確認及び情報交換に努める。
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 「学校の日課、授業、行事などの教育課程は適切に実施されている」 保護者の肯定的回答 80%以上	① 教育課程で適切に時数確保がなされているが、週案・教科部会等を通して確認・調整を行う。 ② 学校行事等については、PDCAサイクルで評価、改善等を行う。	【達成状況】 A 6 保護者の肯定的回答 96.5% ・評価対象である保護者の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・保護者の肯定的回答は96.5%と高い評価を得ており、教育課程は適切に実施されているといえる。 【次年度の方針】 ・学校行事等では、職員会議で計画、立案、調整を行い、終了後PDCAサイクルで評価、改善等を行う。

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 「学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 保護者の肯定的回答 80%以上	① 学期毎に学校公開【オープンスクール】を実施し、土曜日を加えることで、保護者や地域の方々が来校しやすい環境を作る。 ② 「学校だより」「進路だより」「生徒指導だより」等の通信を定期的に発行する。	【達成状況】 A 7 保護者の肯定的回答 93.5% ・評価対象である保護者の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・保護者と地域住民の肯定的回答が90%を越えており、土曜授業でPTA総会等を実施し保護者が参加しやすいようにした効果があったと考えられる。 ・ホームページを活用したり、学校だよりを市民センターに掲示したり、図書、給食、進路、保健だよりや、PTAだより等で学校の情報を発信した。 【次年度の方針】 ・今後も授業参観と行事参観を設定し、オープンスクールを実施し、保護者や地域の方々が来校しやすい環境を作る。 ・保護者会の時には、DVDやスライドを活用して生徒の活動の様子を紹介する。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 「学校は家庭、地域、企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 保護者の肯定的回答 80%以上	① 施設訪問、社会体験学習、小学校との交流等を通して、地域との連携を図る。 ② 各種ボランティア活動を通して地域と連携・協力した教育の推進を図る。	【達成状況】 A 8 保護者の肯定的回答 90.3% ・評価対象である保護者の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・保護者の肯定的回答が90%を超えており、年4回のPTA役員会の開催や行事を通して地域と交流ができたことが肯定的評価につながったと考えられる。 【次年度の方針】 ・体育祭、文化祭、施設訪問、社会体験学習等を通して、地域との連携を図る。 ・ボランティア活動を通して、地域と交流を図っていく。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 「学校は、清掃がしっかり行われ学習しやすい」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 教師は生徒と一緒に清掃をしながら指導し、また、教師の安全点検でより良い環境づくりに努める。 ② 清掃週間を設定し、美化委員会で教室・廊下等の環境美化の徹底を呼びかける。	【達成状況】 A 9 生徒の肯定的回答 92.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・美化委員が生徒会朝会で清掃についてのプレゼンテーションを行うなど、生徒の意識を高める活動を行った。 【次年度の方針】 ・数値目標は達成しているが、取組を一層徹底して、生徒への啓発等を行っていく。
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。【数値指標】 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 乗り入れ授業、あいさつ運動、新入生保護者会等行事において、小学校の先生や児童と交流する。 ② 小中一貫のカリキュラムの内容検討を行う。	【達成状況】 A 10 生徒の肯定的回答 87.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・生徒の数値は市平均を11.8ポイントと大きく上回っている。また、保護者87.6%、教職員90%と高い評価となっている。 【次年度の方針】 ・「小中交流あいさつ運動」、「小6と中1による小中交流学習」などの取組を継続し、小中の連携をさらに図っていく。

		A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 「多様な専門性を有する学校のスタッフの活用により、教員の業務が縮減されている」 教職員の肯定的回答 80%以上	① 生徒が抱える問題等について、担任が抱え込むことなく、学年スタッフや専門スタッフとの連携を図り、教員の業務の負担軽減に努める。	B	【達成状況】 A11 教職員の肯定的回答 87.5% ・評価対象である教職員の肯定的回答は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度同様、スクールカウンセラーやメンタルサポーター等と連携を図り、生徒や保護者との相談業務の効率的・効果的運用を図る。
		A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】 「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている」 教職員の肯定的回答 80%以上	① 生徒に関する情報等について、会議や個別の情報交換の場を大切にし、連携を図る。	B	【達成状況】 A12 教職員の肯定的回答 87.5% ・評価対象である教職員の肯定的回答は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度同様、スクールカウンセラーやメンタルサポーター等とコミュニケーションを密に取り、会議や個別の情報交換の場を大切にしながら連携を図る。
		B1 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値目標】 「生徒は交通ルールやマナーを守っている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 定期的な登校指導や学校だより等を通じて、家庭や地域との連携を図りながら、交通ルールやマナーを守ろうとする意識の向上を図る。	B	【達成状況】 B1 生徒の肯定的回答 97.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・保護者は 89.1%、教職員は 100%、地域も 100%と高い評価を得た。 ・今年度は、12月から1月までの2か月間、教職員とPTA生活指導部員が4か所の危険箇所で行った。また、「並進撲滅運動」と題し、教職員や生徒会による呼びかけを行った結果、並進する生徒が減ってきている。 【次年度の方針】 ・交通ルールやマナーの厳守及び安全な登下校の確保は、本校の最重要課題の一つである。全教職員の共通理解の下、教職員による毎月の登校指導や、冬季のPTA生活指導部と教職員による下校指導、随時行われる交通指導など、今年度同様、交通指導に力を入れていく。 ・全校集会や学級での指導はもちろんのこと、家庭や地域の協力の下、安全な自転車走行や生命尊重の意識の高揚に努めていく。
		教育活動の状況 A13 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 全職員がすすんであいさつをするとともに、生徒会活動や小中が連携した「あいさつ運動」を実施する。	B	【達成状況】 A13 生徒の肯定的回答 96.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・①を継続するとともに以下の項目を付け加える。 ・学級単位でのあいさつ運動を実施する。 ・先行あいさつなどの掲示物を作る。

		A14 生徒は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 「生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 時と場に応じた正しい言葉づかいについて全職員が様々な場面で指導を行う。	B	【達成状況】 A14 生徒の肯定的回答 91.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・保護者の回答が1.9ポイント、教職員の回答は5ポイント下がっており、次年度の課題として取り組んでいく。 【次年度の方針】 ・全職員の共通理解の下、学校生活のすべての場面で適切な言葉遣いや発表、報告等ができるよう、その場その場で繰り返し指導・助言していく。また、教師が率先して丁寧な言葉遣いをすることで模範を示していく。
		B2 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生は、生徒のがんばったことやよい行いをほめてくれる」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 学校行事や生徒会活動など、多くの生徒が活躍する場を設け、生徒が前向きになれる言葉かけなどを継続する。 ② 体育祭や合唱コンクール等の学校行事前に、達成可能な目標を設定できるように指導し、その達成に向けた頑張りを認め、称賛することを通して、事故有用感を高める指導を継続していく。	B	【達成状況】 B2 生徒の肯定的回答 92.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・①、②を継続するとともに以下の項目を付け足す。 ・学校行事後の振り返りや認め合いシートなどを活用し、生徒を認める場面を増やす。
	健康・体力	A15 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 「生徒は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 体育的行事に意欲的に取り組む実態があるので、企画運営にも参画させ、更に、積極的に取り組ませる。 ② 昼休み、校庭で自由な発想で活動し、積極的に体を動かすことを呼びかける。	B	【達成状況】 A15 生徒の肯定的回答 85.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・生徒の肯定的回答は昨年度より 5.9 ポイント上がった。また、教職員は 95%、保護者は 77.8%となり、生徒同様、昨年度を上回った。 【次年度の方針】 ・現在の取組を継続し体育的行事の意味などを知らせさらに充実させていく。 ・昼休みに室内で活動する生徒に、外で運動するように呼びかける。
		A16 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 「生徒は、好き嫌いなく食事をしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 毎日の給食で、栄養バランスのよい地産地消を取り入れた献立を工夫し、食育の充実を図る。 ② 毎月の「給食だより」で食の大切さを家庭にも伝える。	B	【達成状況】 A16 生徒の肯定的回答 80.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成したが、教職員は 67.5%、保護者は 74.4%であった。 【次年度の方針】 ・今後も、偏食を無くすように呼びかける。 ・給食マナー週間や給食週間、お弁当の日などを利用し、食の大切さを伝える。 ・食文化を意識した「給食だより」を発行する。

学 習 等	B 3 生徒は、自分の良いところを理解している。 【数値目標】 「私には、がんばっている良いところがある」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 道徳、学級活動の時間を中心に、お互いの良いところを見つけ、認め合う活動を意図的に取り入れ、自他の長所に目を向けたコミュニケーションが取れるよう指導していく。	B 【達成状況】 B 3 生徒の肯定的回答 88.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・教職員は 82.5%、保護者は 72.5%であった。 【次年度の方針】 ・学校生活において、生徒が頑張っているところを積極的に称賛し、更には学校だより、学校ホームページ、学校だより等で発信していく。
	A 17 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 興味を高めたり、思考や判断、表現等を伴う学習活動の工夫改善に努める。	B 【達成状況】 A 17 生徒の肯定的回答 91.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・保護者の回答は 81.4%で、昨年度より 1.4%増加した。 【次年度の方針】 ・今年度に引き続き「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味を高める教材を工夫する。また、思考力・判断力・表現力を高める学習活動（教師の発問や学習形態、振り返り活動の工夫）を改善していく。
	A 18 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど落ち着いて学習している」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 「学業指導について」（県教委）職員間の周知徹底を図り、学級経営及び授業の工夫改善を図る。	B 【達成状況】 A 18 生徒の肯定的回答 85.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・生徒の肯定的回答は、5.3 ポイント上がった。また、保護者の肯定的回答は 84.8%となっている。 【次年度の方針】 ・昨年度に引き続き、学習の 4 つのきまりを各授業で徹底していく。また、生徒が良い考えや意見を述べたときは称賛していく。
	A 19 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 「生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 地域の行事や様々なボランティア活動への参加について、ボランティア委員会を中心に、参加希望生徒を募り、積極的に参加する。	B 【達成状況】 A 19 生徒の肯定的回答 80.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・保護者の肯定的回答は 69.8%にとどまった。 【次年度の方針】 ・ボランティアの意義を生徒が理解したうえで活動に参加できるよう働きかける。 ・保護者への周知徹底をする。
	B 4 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書量を増やしている。 【数値指標】 「本校の生徒は、読書の時間に進んで本を読んだり、図書室や家庭で本に親しんでいる。」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 読書週間を設け、全校朗読放送や図書のクラス貸出、お話給食の実施などを行い、読書の啓発を推進する。 ② 朝の読書の毎日実施し、読書の習慣づけを図る。	B 【達成状況】 B 4 生徒の肯定的回答 87.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・引き続き、朝の読書を毎日実施し、読書の習慣付けを図る。また、図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。

本校の特色・課題等	B5 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「本校の生徒は基本的な学習内容を身に付けるため、家庭でよく学習している」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 自主学習ノートの提出による家庭学習の定着を図る。 ② 各教科の課題の提出を徹底し、家庭学習の定着を図る。	【達成状況】 B5 生徒の肯定的回答 90.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は、数値指標を達成した。 ・生徒の肯定的回答は、前年度より11.6ポイントと大幅に上がった。 【次年度の方針】 ・担任が生徒の家庭学習状況を把握し、適宜アドバイスする。 ・学年に応じた自主学習ノートの内容の確認を工夫する。 ・自主学習ノートの紹介を行うなど、自主学習ノートの内容について支援する。
-----------	--	--	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域・校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度は、多くの項目で、肯定的回答の割合が高い結果を得た。学級だより及びホームページ等の活用により、積極的に生徒、保護者。地域住民の方々に情報を発信してきた成果と思われる。
 - ・学校独自アンケートの「教職員は定期的に登校指導や交通指導を行い交通事故防止に努めている」の肯定的回答は高い数字であった。しかし、特に年度初めに、自転車の乗り方についてのご指摘やご指導を地域の方から受ける傾向にあるので、さらに計億していくことで生徒の安全意識を高めさせたい。
- 地域学校園で共通して重点目標にあげている「あいさつ」と「言葉づかい」については、肯定的回答が質問11の「あいさつ」では、教職員・地域住民・生徒とも90%を超え、保護者も80%を超えている。質問12の「言葉づかい」では、生徒の肯定的回答の割合が90%を超えている。今後も小中連携して取組を充実させていく。

6 学校関係者評価

- ・すべての項目で、肯定的回答の割合が高かった。
- ・「申し分のない評価である」「生徒はあいさつがよくできている」「教職員のコミュニケーションがよいので、生徒に良い影響を及ぼしているのではないか」「担任の先生が細やかな対応をしてくれるので、安心して子どもを学校に送り出せる」「いじめについては、今後も発信の方法等工夫していただきたい」などのご意見をいただいた。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・評価対象者の数値指標は、すべての項目で市の平均を上回っている。このことから、本校生徒の安定・充実した学校生活がうかがえる。
- ・全体的に肯定的回答の割合は、高い状況にある。今後も、各取組を一層充実させ、生徒や保護者にとって安心・安全な学校づくりを推進していく。
- ・教職員の資質向上を目的として、全教職員が教科または道徳の授業を公開したり、公開授業研究会を開催したりするなどして、授業の在り方や課題等について相互に研修し、授業力向上を図ってきた。次年度も継続して取り組み、一層の授業改善を図っていく。